



令和 8 年度

# 水稻の生育概況 vol.1



埼玉県マスコット  
「コバトン」

(令和 8 年 6 月 9 日現在)  
埼玉県農業技術研究センター

## 要 約

◎気象概況：4月の気温は平年に比べ2.1℃高かった。降水量は平年並、日照時間は平年より少なかった。

5月の気温は平年に比べ1.7℃高かった。降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

◎生育状況：生育はやや早まっている。

### ◎今後取るべき技術対策

- ・ 育 苗：温度管理や通風に注意する。苗の老化がみられる場合は追肥を実施する。
- ・ 水 管 理：分けつの発生が旺盛になるため、有効茎が確保できたら早めに中干を実施する。
- ・ 病虫害防除：ヒメトビウンカの生息数が多いので箱施薬剤による薬剤防除に努める。

## 1 気象の概況

4月の平均気温は、高温傾向で推移し、月平均では平年差+2.1℃とかなり高かった。降水量は、平年並から少なく推移し、月合計では平年比 96%と平年並であった。日照時間は、月合計では平年比 89%と少なかった。

5月の平均気温は、高温で推移し、特に第4半旬以降は最高気温が 30℃を超える日が続き、月平均では平年差+1.7℃とかなり高く、観測史上第2位となった。降水量は、少雨傾向で推移し、月合計では平年比 60%と少なかった。日照時間は、周期的に増減し、月合計では平年比 123%と多かった。

## 2 生育の概況

### (1) センター内生育相

#### ア 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

4月中旬の高温の影響により、苗の葉位進展は早まった。4月中旬は多照であったものの、4月下旬は寡照に転じたため、移植時の草丈は平年比 80%、風乾重は平年比 96%となった。草丈が低かったことにより、充実度は平年より 0.2 高くなった。

移植後は植え痛みもなく、活着は良好であった。移植後、高温多照傾向により生育は進み、移植後 30 日調査では草丈は平年比 112%、莖数は平年比 167%、葉位は平年差 1.0 と平年を上回って推移した。

#### イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

5月上中旬の高温の影響により、苗の葉位進展は早まった。移植時の草丈は平年比76%、風乾重は平年比111%となった。草丈が低く、風乾重が重いことにより、充実度は平年より0.5高い良苗となった。移植後は植え痛みもなく、活着は良好であった。

## (2) 県内全般

米価高騰の影響を受け田植始めは例年より1週間程度早まり、その後の作業も順調に進んだ。一時的な低温もみられたが、活着は良好で初期生育は概ね順調である。早植栽培では高温の影響で苗の老化が早まり、活着が遅れ初期生育が停滞したほ場が一部で見られる。

普通期栽培では高温のため、苗の徒長傾向が見られる。

## 3 今後の生育予測

### (1) 気象予測

気象庁が6月4日に発表した関東甲信地方の1か月予報では、気温が高い確率が50%、降水量、日照時間は平年並か多い見込みとなっている。

また、5月19日発表の関東甲信地方の3か月予報では、7月の天候は、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みで、気温は高い確率が60%と予報されている。

### (2) 生育予測

#### ア 早期、早植栽培

向こう1か月の平均気温は高いと予報されていることから、生育は早まり、分けつの発生も多くなることが見込まれる。

#### イ 普通期栽培

向こう1か月の平均気温は高く、日照は平年並か多いと予報されていることから、苗の生育および初期生育は平年よりやや早まると見込まれる。

## 4 今後取るべき技術対策

### (1) 早期、早植栽培

#### ア 施肥

生育期に葉色が低下しすぎると穂肥を施用しても生育が回復しにくくなるため、ほ場をよく観察し必要に応じて追肥を行う。

「彩のかがやき」においては高温等により田植後40~45日頃の葉色が4.5(群落)を下回った場合は、直ちに窒素成分で2kg/10a程度の中間追肥を行う。

#### イ 病害虫防除

埼玉県病害虫防除所が5月28日に発表した令和8年度病害虫発生予報第2号(6月予報)では、5月中旬までの移植水稻においてヒメトビウンカの発生量が「やや多」と予報されている。「コシヒカリ」等の縞葉枯病感受性品種で、箱施用剤を実施していない場合は本田での防除を行う。

昨年は「イネカメムシ」の全県的な広域防除の実施により、被害の発生は軽微に抑えられた。しかし、昨年よりも減少したものの、県内全域において「イネカメムシ」の越冬世代成虫が確認されている。「イネカメムシ」は6月下旬から7月上旬に越冬場所から水田に飛来するが、水田から水田への移動能力が高いため、広域的な防除の実施が望ましい。防除は出穂期と出穂後8～14日の2回行う。

#### ウ 水管理

分けつの発生が旺盛になると考えられるため、中干しを早めに行う。有効茎数（20～25本/株）が確保できたら、田面に小ひびが入る程度に実施する。大きなひびが入るような強い中干しは根の生育を阻害し生育に悪影響を与えるため避ける。

#### エ 雑草防除

ほ場をよく観察し草種に応じた除草剤（中期剤、後期剤）を選択し、適期に防除を行う。

### （2）普通期栽培

#### ア 育苗

苗代で湛水状態が保たれたまま水温が上昇すると、根に悪影響を及ぼす可能性があるため、水管理に注意する。

原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れがみられた場合は、落水して硫酸等を水にとかしてジョウロ等で散布する（1箱あたり500ml、窒素成分で0.5g程度）。散布後は葉についた肥料分を清水で洗い流す。

#### イ 病虫害防除

育苗期にいもち病が苗に発生した場合は、被覆した寒冷紗をはがすなど通風の改善を図り、薬剤による防除を行う。また、縞葉枯病の感受性品種では、箱施用剤で初期防除を行う。

#### ウ 雑草防除

気温が高いと雑草の生育が早まるため、田植後、雑草（特にヒエ）の葉齢を確認し適期防除を行う。老化苗などで苗が不良の場合、30℃以上の高温条件では除草剤の田植え同時処理の際に、株の枯死や生育阻害などの薬害が発生することがあるので注意する。

#### エ 水管理

麦あと栽培や水持ちのよいほ場では、気温が高いと有機物の分解が急速に進み、強還元によるガス害が発生する。水稻の初期生育が停滞するなどの症状がみられたら、落水し、田面を空気にさらしてガス抜きを行う。

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	13.7	11.5	19.3	17.4	8.8	6.2	40.5	15.9	20.9	33.5	
2	14.8	12.5	20.1	18.4	9.5	7.1	1.0	17.4	26.1	33.3	
3	18.2	13.4	25.2	19.5	12.1	8.2	10.5	16.3	36.5	32.4	
4	17.1	14.4	24.0	20.4	10.9	9.3	2.5	14.2	44.5	31.2	
5	15.8	15.3	21.9	21.3	10.8	10.1	19.0	13.5	26.4	31.6	
6	16.1	16.2	21.2	22.3	11.2	10.9	13.5	13.5	21.2	33.2	
平均	16.0	13.9	22.0	19.9	10.6	8.6	合計	87.0	90.7	175.6	197.1

5月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	17.8	17.1	24.6	23.2	11.7	11.8	38.5	13.5	32.8	32.9	
2	19.4	17.8	25.0	23.6	14.0	12.7	0.0	14.4	39.3	31.0	
3	19.3	18.3	27.0	24.0	13.9	13.4	8.0	16.5	47.9	30.1	
4	23.2	19.0	31.4	24.8	15.5	14.1	0.0	19.7	57.1	31.3	
5	17.8	19.8	22.3	25.6	13.5	14.9	22.5	21.7	14.4	32.0	
6	24.7	20.5	30.6	26.1	19.2	15.8	0.0	24.9	45.6	37.6	
平均	20.5	18.8	26.9	24.6	14.8	13.9	合計	69.0	115.1	237.1	192.0

注) 半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

平年値は平成3年～令和2年の気象台値。

2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
10.0	12.4	80	2.7	2.1	0.6	1.25	1.30	96	1.25	1.05	0.20

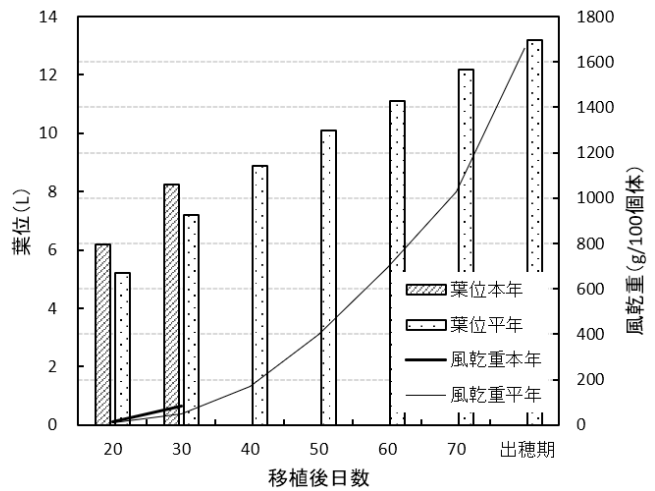
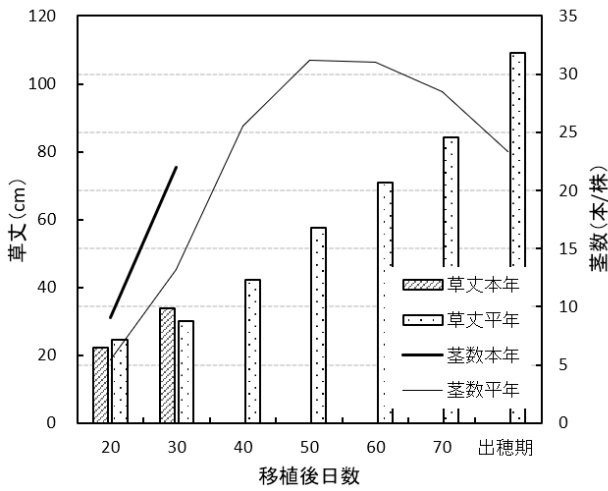
注) 平年値は平成11年～令和7年の平均(平成22年を除く)。平年比は%、充実度は風乾重/草丈。

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	22.2	24.6	90	9.1	5.4	169	6.2	5.2	1.0	13.7	11.6	118
30	33.8	30.1	112	22.0	13.2	167	8.2	7.2	1.0	85.7	47.5	180

注) 平年値は平成11年～令和7年の平均(平成22年を除く)。平年比は%

### (3) 生育経過

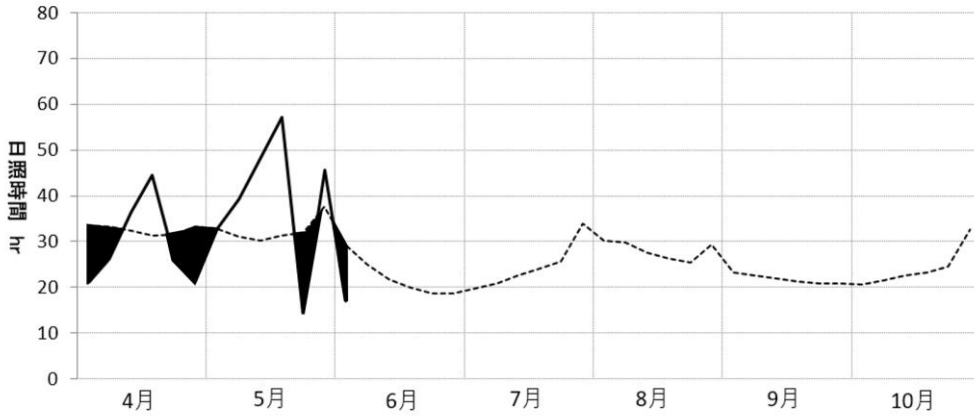
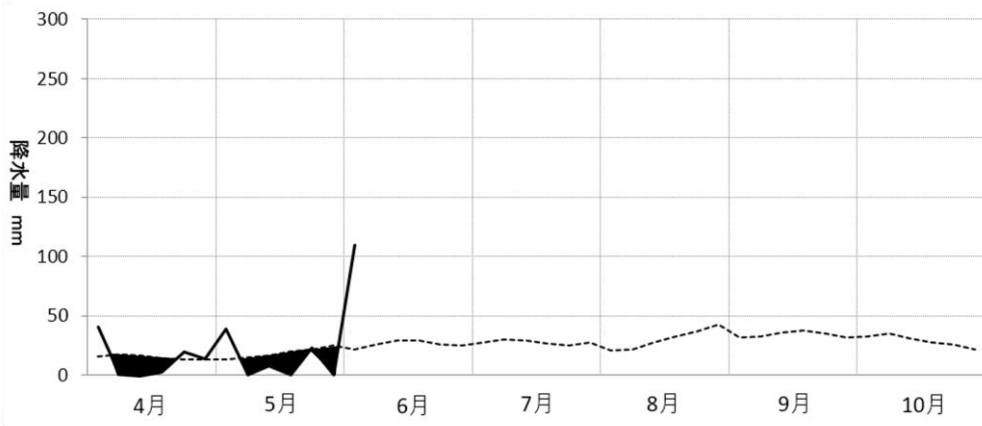
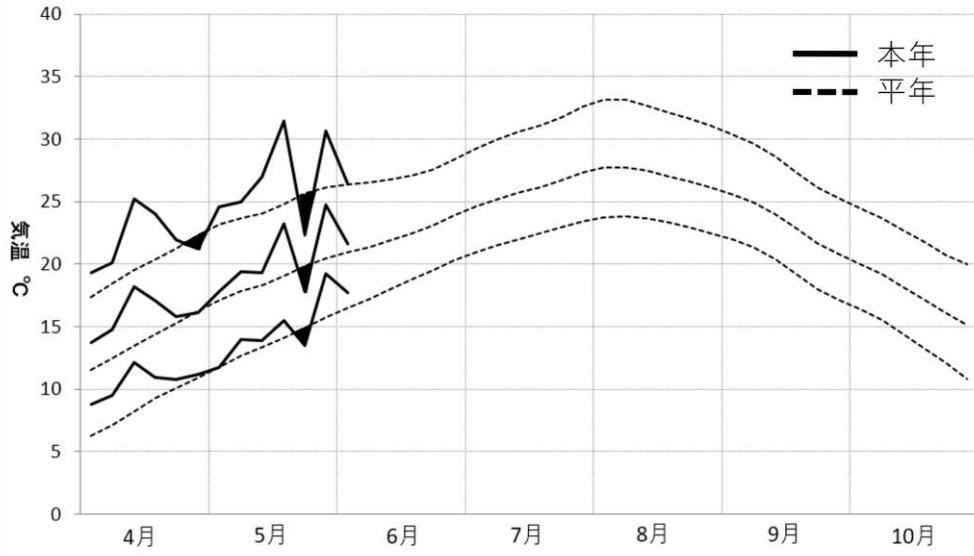


## 3 早植栽培 (5月20日植 彩のかがやき)

### (1) 苗質

草丈 (cm)			葉位 (L)			風乾重 (g/100本)			充実度 (mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
9.6	12.7	76	2.9	2.2	0.7	1.55	1.40	111	1.61	1.10	0.50

注) 平年値は平成12年～令和7年の平均。 平年比は%



令和 8 年夏作期間気象図  
 (熊谷气象台日別測定値から作成)